



遠中だより

発行日：令和4年3月8日

発行：蔵王町立遠刈田中学校

【第21号】文責 佐藤

自主 敬愛 活力

祝 3月6日 蔵王町立遠刈田中学校 第75回 卒業式

3年生との別れを惜しむかのように朝から雪がちらつく寒い日となりましたが、厳かな雰囲気の中にも今の3年生らしい明るさと温かみのある卒業式を行うことができました。大きな声で堂々と立派に証書を受け取る姿や真剣な表情で話を聞く様子など、義務教育の9年間で締めくくるにふさわしい3年生の姿は大変すばらしいものでした。

先輩方の新たな旅立ちをしっかりと後押ししてきた1・2年生とともに、全校生徒が心を一つにして創りあげることができた第75回卒業式でした。

3年生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございました！



蔵王町立遠刈田中学校 第75回 卒業式 学校長 式辞

ここ蔵王の麓を吹く風に、ほのかな暖かさが、漂う空気に、生命の息吹が感じられるようになりました。春本番はもうそこまで来ています。この佳き日に、第七十五回遠刈田中学校卒業式を挙げていきますこと、心からうれしく思います。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。只今、一人一人に卒業証書を授与しましたが、皆さんの表情からは、旅立ちの喜びと、自分で決めた新しいステージへの期待が伝わってきました。そして、皆さんに証書を渡しながら、この一年を振り返っていました。皆さんと初めて出会ったのは、四月一日の赴任日でしたね。明るい笑顔で温かく迎えてくれたことを心から嬉しく思いました。

初夏の清々しい空気の中で実施した蔵王登山。みんなの足を引っ張らないよう、ウォーキングを重ねましたが、やっぱり遅れてしまいました。皆さんはそんな私や先生方を、そして、互いを気遣い、何度も声を掛け、励ましてくれました。

秋の風を感じながら、大なる躍動の中、仲間との絆を確認した「遠中祭」。皆さんが心を一つに披露した遠刈田太鼓は圧巻でした。堂々と演奏する姿に、皆さんのたくましさを感じました。

そして、二か月遅れて実施した修学旅行。率先して声を掛け、遠刈田温泉のパンフレットを手渡す 皆さんの行動力に、地元観光課の方々が生かすに感心していました。寒風の中での自主研修、函館山から見た宝石箱のような夜景。どこに行くにも、みんなで路面電車に乗り、みんなで歩き、みんなで函館を満喫した3日間でした。

コロナ禍の中、多くの行事に制限がかけられましたが、皆さんはめげることなく、創意工夫を凝らして 充実度を高めることで、喜びを見だし、一・二年生にその存在感を示してくれました。なにより、この一年、いつも皆さんは、元気に明るく、笑顔で挨拶をしてくれましたね。今思うと、日常の学校生活でも、常に皆さんはその後ろ姿で後輩に手本を示してくれていたと感じます。本当に立派な最上級生でした。

それでは、皆さんの旅立ちを祝して、私の若かりし頃、友人から投げかけられた、ある「問い」について話をしたいと思います。三十五年程前のある日、友人からこう問いかけられました「これから何のために生きるの?」。唐突なこの問いに、学生だった当時の私は、すぐに答えを見付けることができませんでした。「なんでそんなこと聞くの?」と友人に問い返すことすらできませんでした。今振り返ってみると、「生きる目的」ということについて、それまで一度も考えたことがなかったし、そのことに気付きもせず、流されながら生きてきたことに、ショックをうけていたのだと思います。それ以来、この「問い」が長い間、私の中に残り、考え続けていました。お金とか仕事とか、そういうことではない気がしていました。考えても、考えても、分からない状態が続き、私は本屋に通うようになりました。「生き方」とか、そんな言葉をキーワードにして、自分の答えを見付けるための材料を「本」に求めました。「自分で考え、答えを見付ける」ためには、より多くのことを知り、「学ぶ」必要があったのです。その後、時間を掛けて、ようやくいくつかの「答え」にたどり着くことができました。この「答え」は、経験と学びが深まるにつれ、少しずつ形を変えながら、私を支えてくれています。

この経験から伝えたいこと、それは、「自分で考え、自分で答えを出す」ことの大切さです。そして、深く考えるためには、「学ぶ」ことが必要であるということです。私たちが生きる現代は、技術の進歩に伴い、多様な価値観が生まれています。そして、社会全体が大きな変化の只中にあります。今世界で起きていることに、私たちも目を向け、考える必要があります。

社会の荒波の中で、迷い、自分を見失ってしまうことのないように、「学び、考え、自分で答えを導き出すことができる人になってほしい。」そう願います。

皆さんのこの三年間は、うれしいことや楽しいことばかりではなく、辛く苦しいことも経験し、今日の日を迎えたことと思います。この一年を見ても、たくさんの試練が皆さんに降りかかりました。その試練と正面から向き合い、自分で真剣に考え、自分で答えを出し、行動することで、皆さんは成長を遂げてきたのではないのでしょうか。目の前の試練から逃げず、自分で考え、考え続け、自分が納得する答えを出すために、深く、深く学び続けてください。そうやって出した答えは、自分を支えてくれるものとなります。失敗することもあると思います。しかし、その経験は、さらにあなたを成長させてくれる糧となります。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。ご家庭の皆様が注がれた、これまでの愛情と期待を一身に受け、お子様はこんなに立派に成長されました。これまでのご苦勞に心から敬意を表します。そして、三年間頂戴いたしました、本校教育活動への深いご理解と厚いご支援に心より感謝申し上げます。

結びに、本校校歌の歌詞にこんな一節があります。「命あり 自由あり」、「光あり 理想あり」、「未来あり 希望あり」。

卒業生の皆さんには、「命」と呼べる本質的な価値や力があります。「自由」があります。社会の「光」となる「理想」を求め「未来」と「希望」があります。これからも「学びの歩み」を「踏みしめ」、「いそしみ」、「つらぬいて」、自分の道を切り開いていくことを、心から祈念し、式辞とします。

令和四年三月六日 蔵王町立遠刈田中学校 校長



在校生そして職員一同、3年生のみなさんのますますの活躍を心から願っています。
たくさんの素敵な思い出をありがとう!